

共通科目	感染症学特論 Advanced Study & Research for Infectious diseases	DM_3007	開講	毎年・ 隔年	
			区分	選択	
単位	1 単位	科目責任者	斧 康雄 教授 (板橋・微生物)	授業形態	講義・演習

概要	感染症を引き起こす病原微生物に関する知識、感染症の病態、診断や治療に関する最新の情報(ガイドラインを含む)を講義形式で解説し、診療や研究における能力の向上をはかる。
到達目標	1) 主な細菌、真菌、インフルエンザウイルスなどによる感染症の特徴と最新の診断、治療法を述べることができる。 2) 発熱のメカニズムを理解し、不明熱の鑑別診断を述べるができる。 3) 院内感染対策を理解し、術後感染対策や抗菌薬の適正使用、注意すべき薬剤耐性菌を述べるができる。 4) 感染と発がんのメカニズムについて腫瘍ウイルスを例に挙げて説明することができる。
事前事後	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味を理解したり、疑問点をチェックしておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。
評価方法	講義・演習の課題(40%)、演習における報告発表(30%)、Discussion内容(30%)を評価する。
参考書	1)Mandell, Douglas, and Bennett:Principles and Practice of Infectious Diseases, 8th Edition 2)レジデントのための感染症診療マニュアル(医学書院) 3)感染症専門医テキスト(南江堂)など (深く勉強したい場合は、講義時に各セミナー担当者に聞くこと)
履修上の注意事項	専門医や認定医試験の対策、あるいは研究に役立つ内容となっていますので是非参加ください。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

No.	月日	時間	講義タイトル	担当者	備考
1			外科周術期感染症	福島亮治 教授 (板橋・外科)	大学棟本館 1階105教室
2			インフルエンザ2018-2019	吉野友祐病院准教授 (板橋・内科)	〃
3			腸内細菌叢と免疫の話題	永川 茂 講師 (板橋・微生)	〃
4			病原真菌と真菌症	榎村浩一 教授 (大学院医学研究科)	〃
5			院内感染対策について	松永直久病院准教授 (板橋・内科)	〃
6			感染と発がん	祖母井庸之 講師 (板橋・微生)	〃
7			災害感染症	藤崎竜一 准教授 (板橋・医療技術学部)	〃
8			薬剤耐性菌感染症の話題	斧 康雄 教授 (板橋・微生)	〃
9			カンジダ感染が健康に与える多様なインパクト	安部茂 教授 (八王子・医真菌)	〃
10			発熱のメカニズムと不明熱	菊地弘敏病院准教授 (板橋・内科)	〃
11			抗菌薬の適正使用を考える	北沢貴利 病院教授 (板橋・内科)	〃
12			がん診療における感染対策	吉田稔 客員教授 (溝口・4内)	〃
13			感染と免疫	安部 良 特任教授 (戦略的イノベーション 研究センター)	〃

その他の演習・セミナー等	<p>「感染症学関係のセミナーおよび演習」</p> <ul style="list-style-type: none"> 内科感染症カンファレンス (毎週金曜日14時-16時) 日時は変更の可能性あり、参加希望の方は事前に内科学講座:北沢貴利准教授まで問い合わせのこと 院内感染対策講習会 年2回開催(病院職員全員出席) 帝京感染症セミナー 不定期で開催、午後7時から本部棟会議室で開催予定 参加希望の方は、事前に内科学講座:北沢貴利准教授まで問い合わせのこと 微生物学講座セミナー 毎週水曜日午前9時30分-11時頃、場所:大学棟本館8F微生物学講座セミナー室 内容は主にジャーナルやトピックスの紹介、研究紹介 医真菌研究センターセミナー 八王子校舎の真菌センター内 中央環状高速で板橋からの所要時間は1時間程度 内容は文献紹介と、研究紹介。日時、場所は、各回の案内を参照 宇宙環境医学セミナーも参加可能(参加希望者は榎村浩一教授まで) 国際感染症・危機管理学特論も参加可能(参加希望者は鈴木和男教授まで)
--------------	---

※講義日程の変更・追加の連絡等がある場合、登録されているメールアドレスに連絡します。